

ご使用に際して、この説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保存してください。

ホリエの芍薬甘草湯

ホリエの芍薬甘草湯は、漢方処方にしたがって、生薬を配合した煎剤で、特異のにおいがある。
芍薬甘草湯は、体力に関わらず服用でき、突然に筋肉がひきつれて痛むもの、はげしい運動のあとで手足がひきつれて痛むもの。胆石または腎石のためのはげしい腹痛。又、月経困難症ではげしく痛むときに、頓服として用いてもよい。

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと
 - (1) 生後3ヶ月未満の乳児。
 - (2) 次の診断を受けた人。 心臓病
2. 症状があるときのみ服用にとどめ、連用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 高齢者。
 - (4) むくみのある人。
 - (5) 次の診断を受けた人。 高血圧、腎臓病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
うっ血性心不全、 心室頻拍	全身のだるさ、動悸、息切れ、胸部の不快感、胸が痛む、めまい、失神等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

その他の注意

服用に際して、次のことに注意してください。

- (1) 定められた用法・用量を厳守すること。
- (2) 煎じ液は、必ず熱いうちにかすをこし去ること。
- (3) 本剤は、必ず1日分ずつ煎じ、数日分をまとめて煎じないこと。
- (4) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (5) 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させること。

【効能・効果】

急激におこる筋肉の痙攣を伴う疼痛

【用法・用量】

本品1袋を和紙袋入りのまま水約600mLを加えて半量ぐらいまで煎じつめ、和紙袋とともに煎じかすを除き、煎液を3回に分けて食間に服用する。

上記は大人の1日量である。ただし小児は下記の用量を服用する。

15歳未満7歳以上	大人量の2/3	7歳未満4歳以上	大人量の1/2
4歳未満2歳以上	大人量の1/3	2歳未満	大人量の1/4以下

【成分・分量】

本品1袋(1日量) 12.0g中

日局シャクヤク 6.0g 日局カンゾウ 6.0g

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 小児の手のとどかない所に保管すること。
- (2) 直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (3) 誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- (4) 煎じ液は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用すること。

お問い合わせ先

堀江生薬株式会社 お客様相談室

受付時間：9時から17時まで（土、日、祝日を除く）

☎ 06-6231-1890

製造販売元

堀江生薬株式会社

〒639-1031 奈良県大和郡山市今国府町367-1